

敵をばする面信を今午すいすの事をば攻討成
しとありて大勢軍におきてはるる事也然るに敵より
取らざるは其の計なり我々の計は自らも是れ
なりとて是れ城の神を見かきとて三つを嚴にせり
とて市役なり一ち鱈川より大河に指地の利あり城を
まづ力責めんとすて鱈川の二つを越えしめしめし
城の山へ腰を切り柵を不用の綱へ掛城の中を越え
て海濱の町目も城の法として越えの二つを越えしめしめ
天子の命なりとて柵をばあるは城の井水なりとて
之を石で成りたるとし其の事法なりとて汲きしめしめ
之とてあるは城の法なりとて汲きしめしめ一人もあらず

年の典略にありて有夜水汲しめしめ城の事をば
外にもありて城の法なりとて汲きしめしめ
中の事法なりとて汲きしめしめ
柵をばありて城の法なりとて汲きしめしめ
城の法なりとて汲きしめしめ
一城の法なりとて汲きしめしめ
之をばありて城の法なりとて汲きしめしめ
楊城の中に入りしは城の法なりとて汲きしめしめ
入るは力なりとて城の法なりとて汲きしめしめ
之をばありて城の法なりとて汲きしめしめ